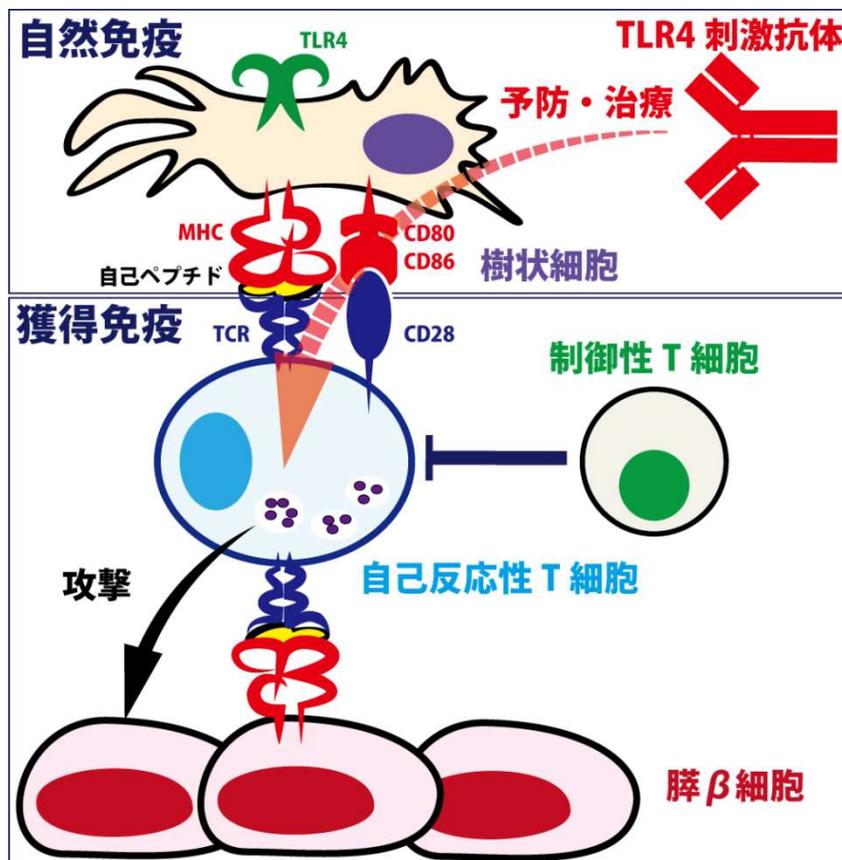


自己免疫疾患を治療する新規免疫療法・抗体医薬品開発



- 1型糖尿病は症状が顕在化し初めて通院、診断される
- 早期発見と予防に加え、発症した自己免疫病態の進展を抑制し寛解誘導する治療法・治療薬が望まれる
- しかし、対症療法以外の有効な治療法・治療薬はない
- 我々が開発したToll様受容体4 (TLR4) 刺激抗体は、自己免疫疾患マウスの「1型糖尿病を予防」するだけでなく、「発症した自己免疫病態の進展を抑制」し、「その症状を寛解」する
- TLR4刺激抗体は「自然免疫を介した新しい免疫学的機序」で、自己反応性T細胞による膵β細胞障害を抑制する

「自己免疫疾患の新規免疫療法」と「抗体医薬品開発」に応用

開発・推進

東北大学大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野

参考資料等

Reversal of New-Onset Type 1 Diabetes With an Agonistic TLR4/MD-2 Monoclonal Antibody. Bednar KJ, Tsukamoto H, Kachapati K, Ohta S, Wu Y, Katz JD, Ascherman DP, Ridgway WM. *Diabetes*. 2015 64(10):3614-26.